



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 日本ライフライン株式会社 上場取引所 東
コード番号 7575 URL <https://www.jll.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 啓介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理統括部長 (氏名) 江川 毅芳 TEL 03-6711-5200
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	14,010	8.2	3,194	0.6	3,215	△0.9	2,340	0.4
2024年3月期第1四半期	12,954	△0.1	3,176	17.3	3,244	21.3	2,330	19.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 2,519百万円 (3.4%) 2024年3月期第1四半期 2,437百万円 (19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	31.95	—
2024年3月期第1四半期	30.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	68,280	52,260	76.5
2024年3月期	73,509	58,102	79.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 52,260百万円 2024年3月期 58,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	0.00	—	46.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	26,600	5.8	5,300	△3.2	5,200	△7.5	3,800	△5.8	53.66
通期	54,000	5.1	11,200	2.8	11,000	4.0	8,000	6.4	113.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	75,758,470株	2024年3月期	75,758,470株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	5,819,379株	2024年3月期	829,200株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	73,265,877株	2024年3月期1Q	77,603,344株

(注) 当社は、役員報酬BIP信託を導入しており、信託が所有する当社株式は「(4) 発行済株式数 (普通株式)」において自己株式として取り扱っております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間末現在において当社グループが判断したものであります。

(経営環境について)

当社グループは主に国内の総合病院等の顧客向けに心臓領域を中心とする医療機器事業を展開しています。日本の医療需要は、人口の高齢化に伴い増加しており、今後もそのトレンドは継続することが予想されています。一方、医療供給はひっ迫しており、各種医療サービスの持続可能性が懸念されています。国は、現行の医療システムが医療従事者の慢性的な長時間労働に依存している状況を改善するため、「医師の働き方改革」を推進しています。

このような状況において、医療機器業界で厳しい競争に勝ち残るには、単に治療効果の高い製品を提供するだけでなく、持続可能な医療を実現するための様々な課題の解決にも貢献していく必要があります。当社グループは、メーカーと商社の2つの機能を併せ持つ強みを活かし、柔軟で強固なプロダクト・ポートフォリオを構築することで、これに取り組んでいます。

(事業の状況について)

当第1四半期連結累計期間は、期初の計画に対して良好に進捗しました。心房細動のアブレーション症例数の増加と中期経営計画における重点取組事項の順調な進捗が、2024年6月に行われた保険償還価格の改定によるマイナスの影響をカバーしました。

心房細動のアブレーション症例数は、前年同期比10%程度増加（自社推計）しました。これを受け、中核事業のEP/アブレーションは、自社製品の販売が拡大し、二桁成長を達成しました。

中期経営計画（2024年3月期から2028年3月期までの5年間）で掲げた重点取組事項の「新領域の拡大」と「競争力ある製品の継続的導入」については、新領域、既存領域ともに新製品の導入によりシェアを維持・拡大することができ、順調に進捗しました。

一方で、2024年6月に保険償還価格が改定されたことにより、幅広い品目で販売単価が下落しました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は前年同期比8.2%の増加、売上総利益は同8.8%の増加となりました。しかしながら、販売費及び一般管理費で貸倒引当金繰入等の一過性のコスト増加要因があったことにより、営業利益は同0.6%の微増にとどまりました。

なお、外国為替相場は引き続き対米ドルで円安基調ですが、当社の業績に対する影響は限定的でした。これは当社の商品仕入の約70%が円建てであることや、売上原価の計算に移動平均法を用いていることから、一時的な調達コストの上昇が生じてもその影響は長期間にわたって平準化されること等が主な理由です。

(業績について)

当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)		増減	増減率 (%)
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
① 売上高	12,954	100.0	14,010	100.0	1,056	8.2
② 売上総利益	7,887	60.9	8,583	61.3	695	8.8
③ 営業利益	3,176	24.5	3,194	22.8	18	0.6
④ 経常利益	3,244	25.0	3,215	23.0	△28	△0.9
⑤ 親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,330	18.0	2,340	16.7	10	0.4

① 売上高

売上高は14,010百万円（前年同期比+8.2%）となりました。詳細は後段の「品目別売上高」に記載しています。

② 売上総利益

売上総利益は8,583百万円（前年同期比+8.8%）となりました。保険償還価格の改定により、幅広い品目で販売単価は下落しましたが、症例数の堅調な増加を背景に、特にEP/アブレーションなどで販売数量が大幅に増加したことで、マイナスの影響をカバーしました。さらに、心血管関連や消化器関連の自社製品では原価低減が進んだことも売上総利益率の改善に寄与しました。その結果、売上総利益率は61.3%（前年同期比+0.4pt）となりました。

③ 営業利益

営業利益は3,194百万円（前年同期比+0.6%）となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比で677百万円増加しました。主な増加要因は以下のとおりです。

- 取引先の手形取引停止処分による貸倒引当金繰入の増加
- 営業活動量の増加に伴う販売関連費の増加
- 基幹システムに係る費用の増加
- 従業員向けの業績連動決算賞与に伴う賞与引当金繰入の増加
- 雑収入の減少（前年同期にBaylis社製品の販売契約終了に伴う在庫移管に関連する雑収入を計上）

以上の結果、営業利益率は22.8%（前年同期比△1.7pt）となりました。

④ 経常利益

経常利益は3,215百万円（前年同期比△0.9%）となりました。営業外収益として、受取利息や為替差益等で131百万円を計上しました。営業外費用として、自己株式の公開買付けに伴う支払手数料や雑損失等で110百万円を計上しました。

⑤ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は2,340百万円（前年同期比+0.4%）となりました。法人税等の負担率は27.4%となりました。

（品目別売上高）

（単位：百万円）

区分	前第1四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	増減	増減率 （%）
リズムデバイス	3,446	3,469	23	0.7
EP/アブレーション	6,272	7,101	828	13.2
心血管関連	2,718	2,784	66	2.5
脳血管関連	135	347	212	157.5
消化器	381	307	△74	△19.6
合計	12,954	14,010	1,056	8.2

※ 各品目区分に分類される主たる商品は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結累計期間より、従来の「心血管関連」に含まれていた「脳血管関連」を独立した新区分に変更しております。前第1四半期連結累計期間との比較は、変更後の区分に組み替えた数値で算出しております。

リズムデバイス	心臓ペースメーカー、T-ICD（経静脈植込み型除細動器）、S-ICD（完全皮下植込み型除細動器）、CRT-P（両心室ペースメーカー）、CRT-D（除細動機能付き両心室ペースメーカー）、AED（自動体外式除細動器）
EP/アブレーション	EP（電気生理用）カテーテル、アブレーションカテーテル、内視鏡レーザーアブレーションカテーテル、心腔内除細動カテーテル、食道温モニタリングカテーテル、ステイラブルシース、大腿静脈止血デバイス
心血管関連	人工血管、オープンステントグラフト、ステントグラフト、心房中隔欠損閉鎖器具
脳血管関連	塞栓用コイル、血栓吸引カテーテル、マイクロカテーテル
消化器	胆管チューブステント、胆管拡張バルーン、胆道鏡システム、内視鏡ガイドワイヤー、大腸用ステント、胃・十二指腸用ステント、肝癌治療用ラジオ波焼灼電極針

① リズムデバイス

リズムデバイスの売上高は、3,469百万円（前年同期比+0.7%）となりました。2024年6月に行われた保険償還価格の改定により、ペースメーカーの販売単価は主要モデルで約13%下落しましたが、旧モデルの自主回収に伴う交換症例の増加もあったため、ペースメーカー関連の売上高は堅調に推移しました。市場でオンリーワンのS-ICDは、新規採用を伸ばしたものの、T-ICDが低調に推移し、ICD関連の売上高は前年同期並みとなりました。

② EP/アブレーション

EP/アブレーションの売上高は、7,101百万円（前年同期比+13.2%）となり、四半期ベースで過去最高を更新しました。心房細動のアブレーション症例数が前年同期比10%程度増加したことに加え、コア自社製品である心腔内除細動カテーテルにおいて、競合製品の参入はあったものの新モデルの追加等によりシェアを維持し、食道温モニタリングカテーテルにおいてシェアを拡大しました。また、前期の第3四半期会計期間に上市した大腿静脈用止血デバイスは、採用施設数の順調な拡大も寄与し、販売は好調に推移しました。

③ 心血管関連

心血管関連の売上高は、2,784百万円（前年同期比+2.5%）となりました。コア自社製品であるオープンステントグラフトは、前期に新規参入した他社品の影響が一定程度あったものの、前年同期並みの売上高を確保しました。また、腹部ステントグラフトや心房中隔欠損閉鎖器具は、着実にシェアを伸ばしました。

④ 脳血管関連

脳血管関連の売上高は、347百万円（前年同期比+157.5%）となりました。塞栓用コイルは、新たに導入した追加モデルがけん引し、好調に推移しました。血栓吸引カテーテルは、上市後約1年でシェアを10%程度にまで伸ばしました。さらに、新商品として、当第1四半期会計期間よりマイクロカテーテルの販売を開始しました。

⑤ 消化器

消化器の売上高は307百万円（前年同期比△19.6%）となりました。この中には前期に終了したコロナリー・インターベンション事業の影響が含まれており、その影響を除いた売上高は273百万円（前年同期比+24.1%）となりました。主力の胆管チューブステントが採用施設数を拡大したほか、前期末に販売を開始した内視鏡ガイドワイヤーが好調に推移しました。

(2) 当四半期の財政状態に関する概況

(四半期連結貸借対照表に関する分析)

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べ3,559百万円減少し、39,311百万円となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が964百万円、棚卸資産が996百万円、それぞれ増加した一方で、自己株式の取得、配当金の支払いならびに法人税等の支払いにより現金及び預金が5,658百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,669百万円減少し、28,968百万円となりました。これは主として、投資有価証券が803百万円、投資その他の資産のうちその他に含まれている繰延税金資産が516百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末から5,229百万円減少し、68,280百万円となりました。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債が前連結会計年度末に比べ727百万円増加し、14,902百万円となりました。これは主として、未払法人税等が1,301百万円、賞与引当金が957百万円、それぞれ減少した一方で、短期借入金が3,000百万円増加したことによるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ114百万円減少し、1,116百万円となりました。これは主として、その他に含まれているリース負債が91百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は前連結会計年度末から613百万円増加し、16,019百万円となりました。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,842百万円減少し、52,260百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益を2,340百万円計上した一方で、剰余金の配当を3,154百万円実施したこと、ならびに自己株式が5,207百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、症例数の想定以上の増加等を背景に、期初に開示した予想に対して良好に進捗しました。第2四半期連結会計期間以降も、同様の事業環境が継続する見通しです。2025年3月期の通期の連結業績予想(2024年5月1日公表)については、現時点で変更はありません。業績予想の修正が必要になった場合は、速やかにお知らせします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,669	7,010
受取手形及び売掛金	13,283	14,248
棚卸資産	15,154	16,151
その他	1,763	1,901
流動資産合計	42,871	39,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,086	7,067
その他(純額)	6,348	6,349
有形固定資産合計	13,434	13,416
無形固定資産	2,292	2,203
投資その他の資産		
投資有価証券	7,601	6,797
長期貸付金	2,719	2,814
退職給付に係る資産	69	90
その他	6,075	5,453
貸倒引当金	△1,555	△1,807
投資その他の資産合計	14,910	13,348
固定資産合計	30,638	28,968
資産合計	73,509	68,280
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,254	4,017
短期借入金	3,500	6,500
1年内返済予定の長期借入金	416	329
未払金	1,178	1,166
未払法人税等	1,750	448
賞与引当金	1,794	837
役員賞与引当金	80	20
その他	1,200	1,583
流動負債合計	14,175	14,902
固定負債		
長期借入金	120	90
役員株式報酬引当金	163	170
その他	947	855
固定負債合計	1,231	1,116
負債合計	15,406	16,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,115	2,115
資本剰余金	8,866	8,866
利益剰余金	47,291	46,478
自己株式	△756	△5,963
株主資本合計	57,516	51,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	36
為替換算調整勘定	348	465
退職給付に係る調整累計額	271	262
その他の包括利益累計額合計	585	764
純資産合計	58,102	52,260
負債純資産合計	73,509	68,280

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	12,954	14,010
売上原価	5,066	5,427
売上総利益	7,887	8,583
販売費及び一般管理費	4,711	5,388
営業利益	3,176	3,194
営業外収益		
受取利息	50	60
受取配当金	4	13
為替差益	62	40
投資有価証券評価益	3	11
その他	11	4
営業外収益合計	132	131
営業外費用		
支払利息	7	7
貸倒引当金繰入額	16	13
支払手数料	8	60
その他	32	28
営業外費用合計	65	110
経常利益	3,244	3,215
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	20
特別利益合計	0	20
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	4	10
特別損失合計	4	11
税金等調整前四半期純利益	3,240	3,224
法人税、住民税及び事業税	241	389
法人税等調整額	668	494
法人税等合計	910	884
四半期純利益	2,330	2,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,330	2,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	2,330	2,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	101	71
為替換算調整勘定	0	116
退職給付に係る調整額	5	△8
その他の包括利益合計	107	179
四半期包括利益	2,437	2,519
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,437	2,519

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年5月1日開催の取締役会決議に基づく自己株式の公開買付けにより、自己株式5,000,100株の取得を行っております。公開買付けによる自己株式取得等の結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が5,207百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は5,963百万円となっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	330百万円	424百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、主な販売先は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社及び連結子会社の営む事業は医療用機器の製造及び販売業であり、また、主な販売先は国内に所在しております。当社及び連結子会社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象として報告セグメントとすべきものはありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を商品区分別に示すと次のとおりであり、著しい変動はありません。

(単位：百万円)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	増減率 (%)
リズムデバイス	2	6	196.4
EP/アブレーション	1,438	1,518	5.5
心血管関連	273	364	33.4
消化器	112	138	22.8
合計	1,826	2,026	11.0

(注) 1. 金額は製造原価によっております。

2. 当第1四半期連結累計期間より、事業区分に「脳血管関連」を追加しておりますが、「脳血管関連」の生産実績は前期、当期ともに発生していないため表示を省略しております。

② 受注実績

当社グループの事業形態は、原則として受注残高が発生しないため、記載を省略しております。

③ 販売実績

販売実績につきましては、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。